



わがふるさと富士山

③

水神の森 橋本慶子

水戸島四〇四



今富士川橋の上に立ち、三十余年も前に思
いをはせています。

川の流れは多少変わりましたが、あの水門
のすぐ上の岩場は子供たちの天国でした。夏
休みは、盆を除いては毎日遊んだ所。一日中
泳いだり手ぬぐいでめだかをすくったり砂の
だんごでパチンコしたり。熱い砂の感触
が忘れられません。

そういえば、砂利を掘った後のすり鉢状の
中で泳いだり、橋のすぐ下の流れの早い所を
斜めに渡り切ったり、危険な遊びもいっぱい。
水神さんではセミの大合唱。幼虫をとつたり、
しいのみを拾つたり、入口の階段に並んで、
水あめをなめながらの紙芝居見物。子供たち
の大歓声や紙芝居のおじさんの拍子木の音が、
今にも聞こえてくるような気がします。そし
て、今も変わらぬ大きな富士山が、いつも見
守つてくれていたのです。

こちら編集室

積み立てたお金で、湯煙ツアーや
に参加した。大きな湯舟と、外に
広がる青い海。と、キャーとも、
ファーともつかない声で入って來
たギャルの群団。

体も洗わず、いきなり湯舟にド

ローン。そして、前も隠さず（こんなことはどうでもいいが）あつちへウロウロ、こっちへウロウロ。

おばさんは、小さくなつた胸を
隠して、そっと退場したのであり
ました。（若さがまぶしいワタシ）

豆の話

6月5日号でお知らせしたツタンカーメンの
エンドウ豆を、50人に郵送したり取りに来て
ただきました。発芽率は、70%くらいとか。来
春には、三千年の伝統を誇るエンドウ豆が食
べられますよ、きっと！ 不思議なことにこの豆
は、御飯に炊き込むとグリーンから小豆色に変
わります。お試しください。



パートII

広報ふじは環境にやさしい再生紙を使っています